

# 高速道路建設促進 に関する緊急要望

全国高速自動車道市議会協議会は、別記のとおり  
高速道路建設促進に関する緊急要望を提出いたしま  
すので、政府並びに国会におかれましては、特段の  
ご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成21年12月15日

全国高速自動車道市議会協議会  
会長 仲道俊寿  
(大分市議会議長)

## 記

高速自動車国道は、地域の交流や観光に加え、広域救急医療及び災害時の緊急輸送などに資する極めて重要な社会基盤であるとともに、物流の迅速化によって地域の経済活性化へ大きな効果が見込め、地域間の格差是正のためにも、その一日も早い整備完了が待たれる。

しかしながら、高規格幹線道路網 14,000km の供用率は依然として 6 割台に過ぎず、現下の経済情勢及び公共事業政策を取り巻く状況と相まって、地方圏における高速道路建設の更なる遅れが懸念される。

高速道路はミッシングリンク（未開通区間）が解消され、ネットワーク化が図られてこそ、その効果を最大限に発揮するものである。

よって、平成 22 年度政府予算編成に当たり、特に次の事項について強く要望する。

1. 高速自動車国道を中心とした高規格幹線道路網の整備は、国の責任において着実に実施するとともに、高速道路と一体となって道路交通体系を成す地域高規格道路の整備を促進するため、必要な予算を確保すること。
2. 本年度補正予算の見直しによって、執行停止とされた6区間の4車線化事業については、明年度以降において着実に実施すること。
3. 高速道路の通行無料化については、受益者負担の原則を逸脱することはもとより、交通渋滞や環境への負荷及び公共交通体系全体への悪影響が懸念されるので、慎重に対応すること。
4. 地方における道路整備を促進するうえで、貴重な財源となっている自動車関係諸税の暫定税率を維持すること。